

経営比較分析表（令和4年度決算）

和歌山県公立那賀病院経営事務組合 公立那賀病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	ド透訓ガ	救護が感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	22,708	-	第2種該当	7:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	304
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
300	-	300

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 令和4年度全国平均

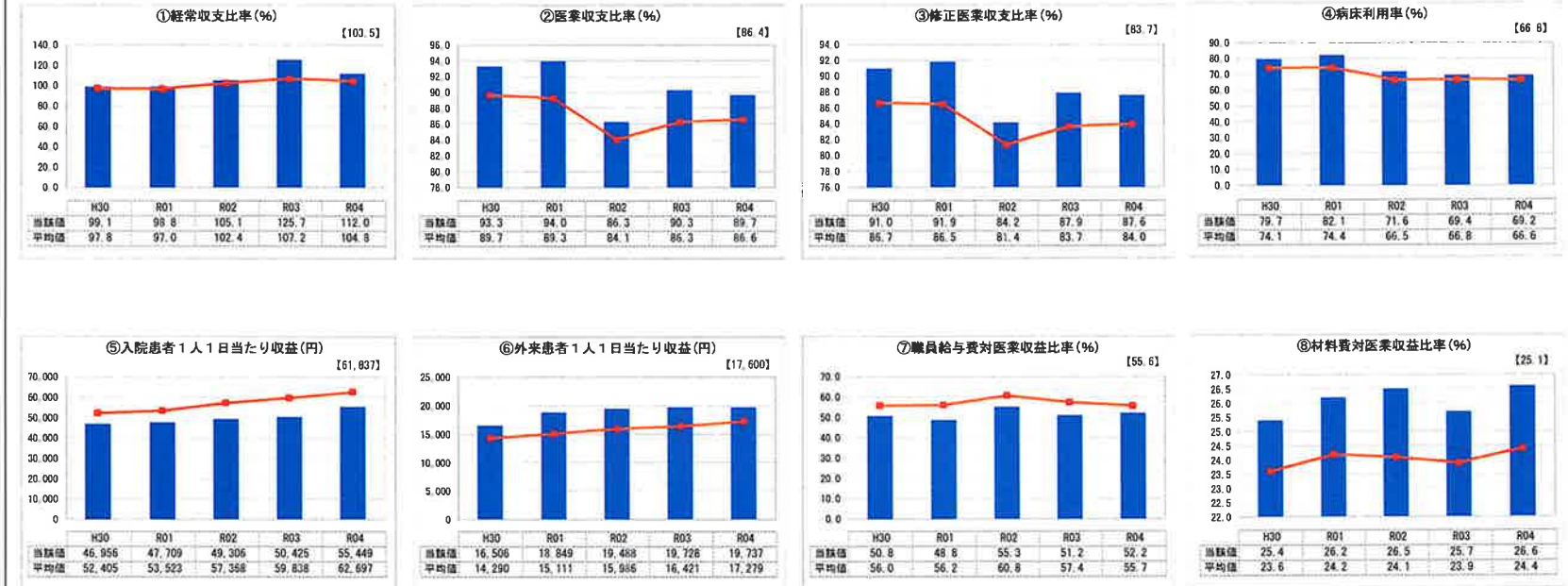
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 来…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

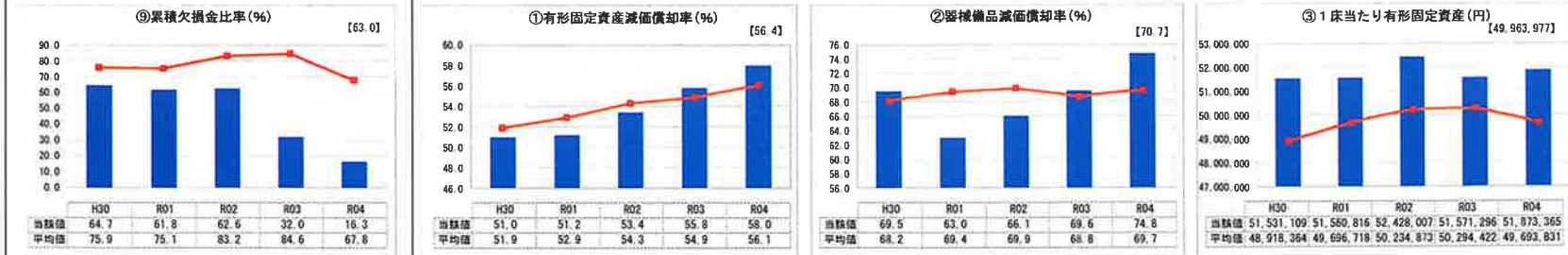
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 [標準の業務・ネットワークを共有]	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

那賀保健医療圏における基幹病院として、高度医療・救急医療の提供に努めており地域の開業医との連携も進めている。また地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、感染症指定医療機関など地域における様々な拠点病院としての責務も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度においては新型コロナ関係の収支もあり、昨年度に引き続き通常時とは異なる形となったが経常収支比率は100%を上回った。病院経営の主要指標である経常収支比率、医業収支比率、修正医業収支比率、病床利用率において平成30年～令和4年度において当院は類似病院平均値を上回っており、健全性・効率性を確保出来ている状態であると考えている。様々な要因がある中で平均値を下回っている指標もあるので分析や改善などに努めていく。

2. 老朽化の状況について

老朽化の指標については、有形固定資産減価償却率が概ね平均値近辺にあるが、当院は病院建築後20年以上経過してきているので今後は上昇してとと考えている。最適な医療環境を提供できるように計画的な整備の実施に努めていく。

全体総括

経常収支比率が平成30年度・令和元年度においては100%を下回っていたが、令和2年度以降改善し100%を上回っている。その他の主要な指標においても全国類似病院平均値を上回っており、病院としての様々な取組が表れていると考えている。新規感染症対応なども含め病院を取り巻く環境は大きく変化している中で安定した経営を継続していけるように努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。